

特集 クリームソーダが恋しくて

19

# マイ・ベスト・レトロ



ノリタケの  
カップ&ソーサー



昭和雑貨とクリームソーダのお店  
Chique  
村本 詩子さん

「ノリタケ」は日本で最初に洋食器を作った会社で、古くからある日本企業が好きな私のマニア心に火をつけたブランドです。オールノリタケから一般家庭の来客用の食器として移り変わり、どんどん枝分かれしていく歴史に惹かれます。



EBONYの  
大判カメラ



坂梨高真機店  
坂梨 予司夫さん

ネジ1本から手作りする高性能木製カメラとして人気だったので、2016年に廃業したメーカーです。実は、叔父が立ち上げたメーカーなんです。昔からカメラの分解が好きで、カメラを作る人になってしまった無類のカメラ好きです。



ジャン＝ミシェル・パスキアの  
画集



本と音楽と珈琲と、共栄堂  
荒木 久尚さん

藤原ヒロシのレコードジャケットでファンになった、アメリカの画家・パスキアの1000部限定の画集です。これは、7年ほど前に手に入れたもので、シリアルナンバーが手書きされているんです。さすがに「共栄堂」には置いてませんね。



アンティークの  
ドライヤー



映像作家  
松田 拓真さん

100年前のアメリカのドライバーでNYで出会いました。電力の関係が電源を入れるとそよ風しか出ませんが、洗面台にあるだけで嬉しくなります。今でも動くなんて、技術力の高さにも、それだけ大切にされてきたことにも感動です。



ちいさなガラス瓶



つむぐ  
崎山 由美さん

はじめて買った古物が小瓶。テーブルの上にはちよこんと置くだけでもかわいいんです。当時は育児奮闘中、子どもに壊されることを心配しながらも、気泡と色味とが、見ているだけでもうれしくて。今でも好きでよく買っています。



POLAROID SX-70



Recycled Store  
ONE PLUS ONE  
店長・グリグリさん

店主が旅先のパリの蚤の市で見つけて、写真をはじめるきっかけになったカメラに、フィルム製造が中止になる危機を、ユーザー自らが製造することで回避した歴史があって、その恩恵に浴びるために店に本体とフィルムを販売してるんだや。



天然石の指輪



画と雑貨と珍品の店  
モラトリウム  
中村 よしこさん

亡き母が若い頃、趣味で作っていた指輪たち。一つひとつ、自分で天然石を削り出して手作りしたものです。それを譲り受けて、普段から愛用しています。世界に2つとない指輪、その特別感に、つけるだけでテンションが上がります。



天明3年の九州地図



舒文堂河島書店  
河島 一夫さん

240年以上昔に旅人が使っていた九州の地図で、熊本もしっかりと描かれています。これを小さく畳んで懐に入れて使っていたのですが、今でも良い状態が残っていることから、当時の人たちがモノを大事にしていたかが分かります。



大正製薬の  
ショーケース



古書汽水社  
佐藤 慶太さん

移住後、山鹿に住んでいた時に古物市場で出会い即決。このカーブしたガラスが珍しくて惹かれました。ボロボロだったので脚をつけて、背板を修理したりして、店に飾ることに。私物のフィギュアなどを入れてあります。



FRANCISCANの  
スターバーストプレート



ichie  
used&vintage  
西京之介さん

1960年代のアメリカで生まれたヴィンテージ食器です。雑誌などで見て憧れていたもので、アメリカに仕入れに行った時に発見。個人的に欲しかったのですが我儘して店頭で並べていますが、もし売れなかったらと狙っています(笑)。



宇土 張り子



Untapped Kumamoto  
松田 千栄子さん

地域に残る伝統玩具が好きで、「宇土張り子」は明治にはじまり、一度途絶えてしまったものが復活したと聞いています。私が丑年だったのでこれに決めました。このフォルムや首が揺れる感じがかわいいですよね!



マリアージュ フレールの  
ティーポット



etu  
橋本 美樹さん

フランスの紅茶専門店が茶室に合わせて作っているティーポット。19年前くらいから集めています。写真のティーポットは最初に買ったものなんですけど、注ぎ口が割れても金継ぎをして、大事に使い続けています。



西ドイツ製の  
壁掛けコーヒーミル



古物屋  
mi-estilo  
橋口 りんさん

東京・合羽橋のコーヒー専門店で、運命的に出会った逸品。東西統一前の西ドイツ製という歴史の重みと、機能美を感じられる雰囲気に一目惚れして、あるだけ仕入れてしまいました。自宅でも愛用しています。



オーストリア製の  
クッキングストーブ



GOOD TIMER  
田口 裕大さん

1920〜30年代の灯油ストーブ。かなり希少なヴィンテージギアで、この質感、存在感、たまりません。キャンプや自宅によく使っていますが、このストーブに火が灯った姿を見るだけで、おいしいお酒が飲めます。

古物屋

ミ・エスティロ

## 04 mi:estilo

昔ながらの手仕事  
暮らしの景色を豊かに

熊 本城のお隣元、古町にある古物屋。日本のものを中心に、どこか懐かしさを感じる古家具や古道具、器などが、2フロアにわたって並んでいる。「昔の家具は、本物の素材で丁寧に作られているから、モノとしての価値が高い。だから好きなんです」と橋口さん。お店で手直しやリメイクをしているので、現代のインテリアにも馴染みやすい家具・道具に仕上がっている。昔ながらの手仕事の品が身近にあると、日々の暮らしも少し丁寧に工夫したくなるから、不思議だ。



自宅に古家具を置きたい初心者におすすめの一品。昭和中期頃の引き出しに、ガラスの取っ手をつけてリメイクし、存在感をプラス。9,900円



18

昭和中期頃の子どもイスを、ワックス塗装、座面張り替えでリメイク。実用性もインテリアとしての存在感も兼ね備え、子どもが成長してもオシャレに飾れる。19,800円



昭和レトロな雰囲気によく合う、手仕事でつくられたあけびのカゴ(※新品)。青森・弘前の職人が昔ながらの方法で丁寧に編んでおり、何十年も使い継ぐことのできる逸品。25,300円



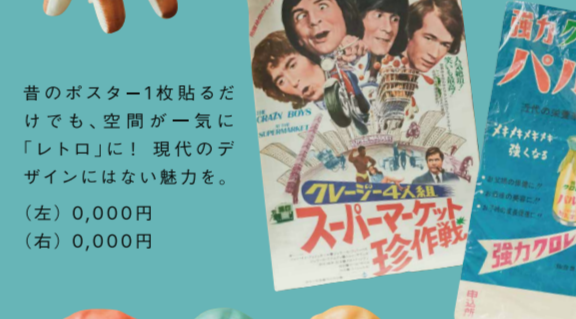
096-288-5852  
熊本市中央区西唐人町24-3  
11:00→18:00 不定  
ホームページ「ミ・エスティロ」で検索



090-4492-0808  
熊本市中央区河原町2  
13:00→18:00 不定  
Instagram=@moratorium2012



昭和30年代頃に百貨店のノベルティとして作られたらしい革張り人形。とぼけた表情がたまらない。各3,500円



昔のポスター1枚貼るだけでも、空間が一気に「レトロ」に! 現代のデザインにはない魅力。(左) 0,000円 (右) 0,000円



昭和期のソフビの人形。スタイリッシュにパンツスーツを着こなした女の子達、3人並ぶとレトロオシャレ! 3体セット 7,000円

画と雑貨と珍品の店

## 05 モラトリウム

レトロな宝物を見つけて  
ノスタルジーにひたろう

昭 和の風情残る河原町織姫問屋街にある古物屋さん。中に入ると、そこはレトロの宝箱だ。子どもの頃に心躍らせた昭和レトロな文具やおもちゃから、マンガ本や中古レコード、戦前〜戦後期のラベルやポスター、チケットなどの紙もの、明治期の書籍まで、日本のさまざまな年代のレトロが文字通り「ぎっしり」詰まっている。「人によって、見つける“宝物”が違うんですよ」と中村さん。自分だけのレトロな宝物を掘り起こし持ち帰って、忘れかけていた遊び心を暮らしに灯したい。

グッドタイマー

## 06 GOOD TIMER

場 所は阿蘇の国道57号沿い。欧米のヴィンテージキャンプギアをはじめ、古物や新品の雑貨やキャンプギア、古着などを扱うセレクトショップだ。棚にズラリと並び、使い込まれた舶来品ギアを見ていると、一つひとつに時代背景や物語を感じ、その味わい深さに引き込まれてしまう。1点ものがほとんどで、ここで出会えるのもまさに運命。「アウトドアでもインテリアでも「使える」ものばかり。使い継ぐことで、日々の暮らしに重みや価値をもたらしてくれる存在になるはず」と田口さん。



1970年代のデスクランプ。どっしりとした土台とインダストリアルなフォルムが、なんとも言えない存在感。ランプ部分は最新のものを取り付け。15,400円



1960年代のドイツで使われていた、重くて丈夫なボックス。この無骨な質感は置くだけでも様になる。重ねて使うことも。各12,000円



1960年代のアメリカのパブに掲げられていたパブミラー。この1枚を置くだけで、部屋が一気にアメリカンなテイストに様変わり。13,200円



0967-32-2002  
阿蘇市永草2567-5  
11:00→17:00  
月〜金曜 ※祝日は営業  
Instagram=@goodtimer.kumamoto

ヴィンテージギア  
がもたらす  
暮らしの趣



田口裕大